



CADPERT[®]
統合施工支援システム

チュートリアル
Ver 7



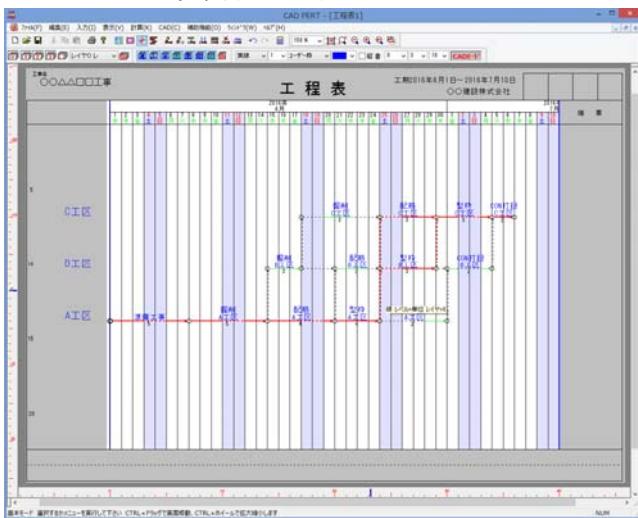
目 次

1. バーチャート工程表変換機能について	1
2. 注意喚起機能について	5
3. CADレベル表示/非表示機能について	9
4. CADモード機能について	10
5. 矢線表形式編集機能について	11
6. 簡易矢線入力機能について	12

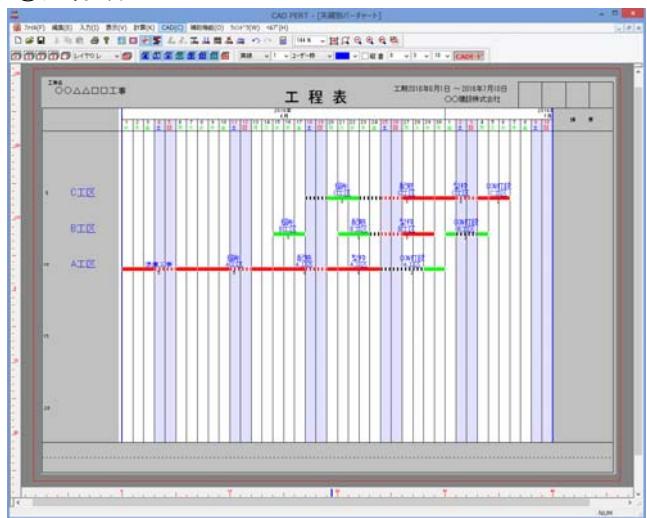
1. バーチャート工程表変換機能について

バーチャート自動作成機能を使用して、作成したネットワーク工程表をバーチャート工程表に変換します。
また下記のような①矢線順 ②作業名順 ③資源名順に並び替えを自動的に行うことができます。
ネットワーク工程表を作成せずにバーチャート工程表だけを作成することはできません。

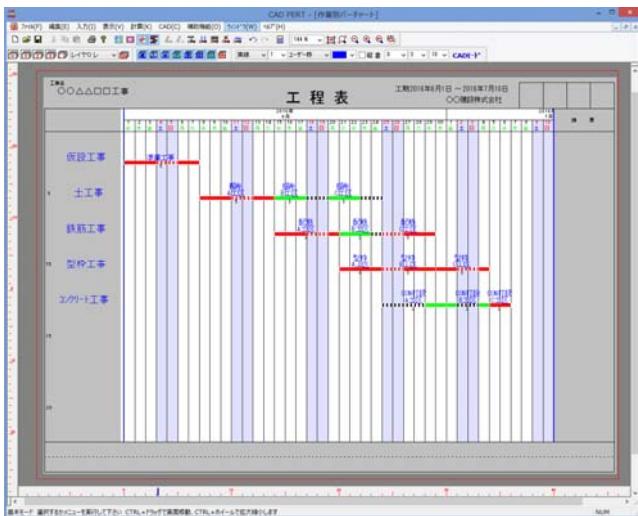
ネットワーク工程表(ベース)



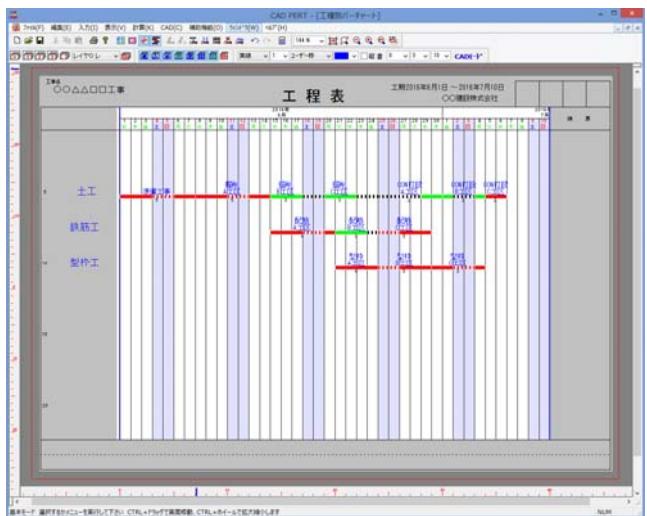
①矢線順



②作業名



③資源名

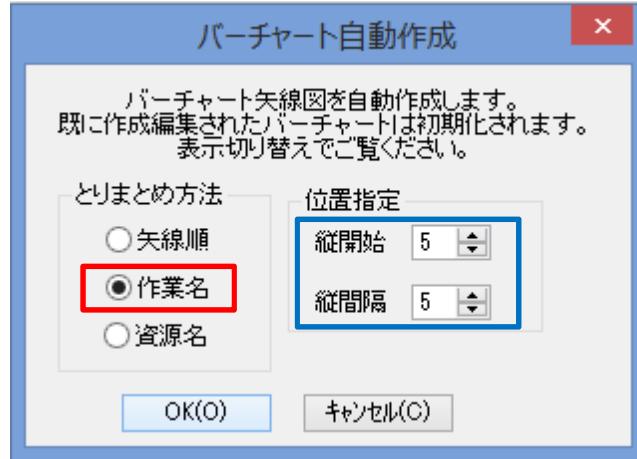


ここでは作業名順にバーチャート変換した後、編集してバーチャート工程表を作成していきます。

◆バーチャートに変換する

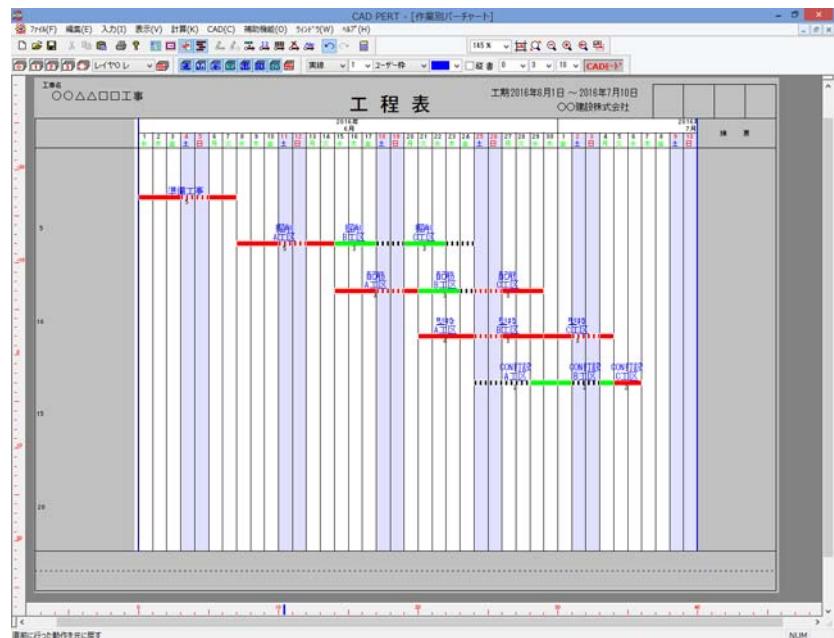
1. メニューバーの[計算]—[バーチャート自動作成]をクリックします。

2. [バーチャート自動作成]ダイアログが表示されますので、「とりまとめ方法」は「作業名」を「指定位置」は「縦開始」を「5」、「縦間隔」を「5」とし、<OK>ボタンをクリックします。



指定位置についてはバーチャート表示させて適宜調整してください。

3. メニューバーの[表示]—[バーチャート]（またはツールバーの [バーチャート表示/非表示]）をクリックします。

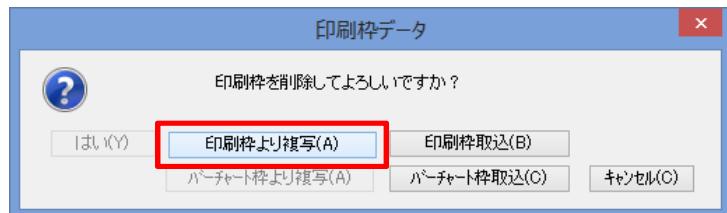


1つの矢線に複数の作業名がある場合には、1番目の作業名で取りまとめます

◆印刷枠をコピーする

1. メニューバーの[ファイル]—[印刷編集]—[印刷枠 取込]をクリックします。

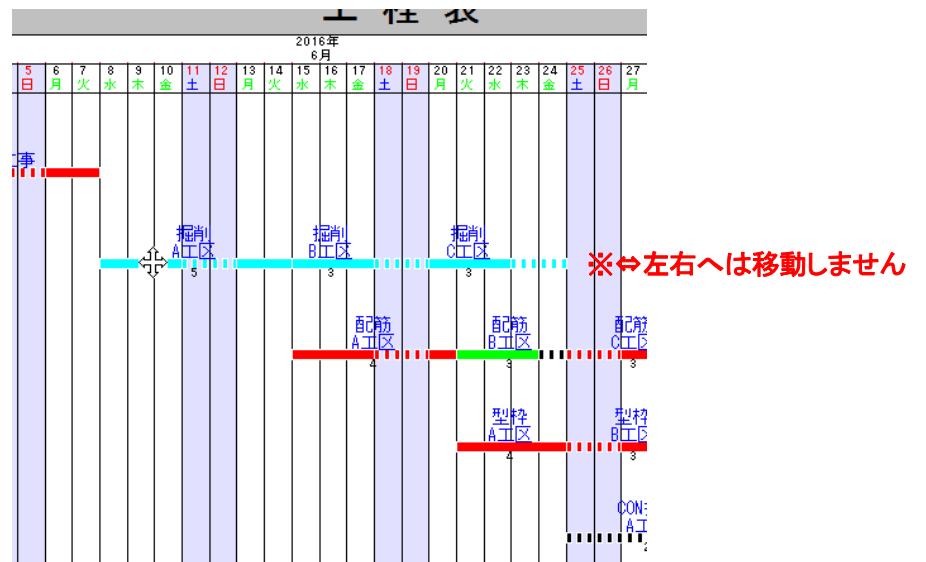
2. [印刷枠データ]ダイアログが表示されますので、「印刷枠より複写」をクリックします。



ネットワーク工程表の印刷枠が複写されます。
ネットワーク工程表の印刷枠が CAD レベル「印刷枠」で描かれていないと、
複写できません。

◆作業バーを移動する

1. マウスをドラッグして移動する作業バーを囲みます。選択された作業バーは水色表示されます。
2. マウスカーソルを選択された作業バーの上にのせるとマウスカーソルの形がになりますので、マウスをドラッグ＆ドロップして移動させます。



作業バーはネットワーク工程表の矢線と連動していますので、上下の移動はできますが左右の移動はできません。

◆項目欄に作業名称を入力する

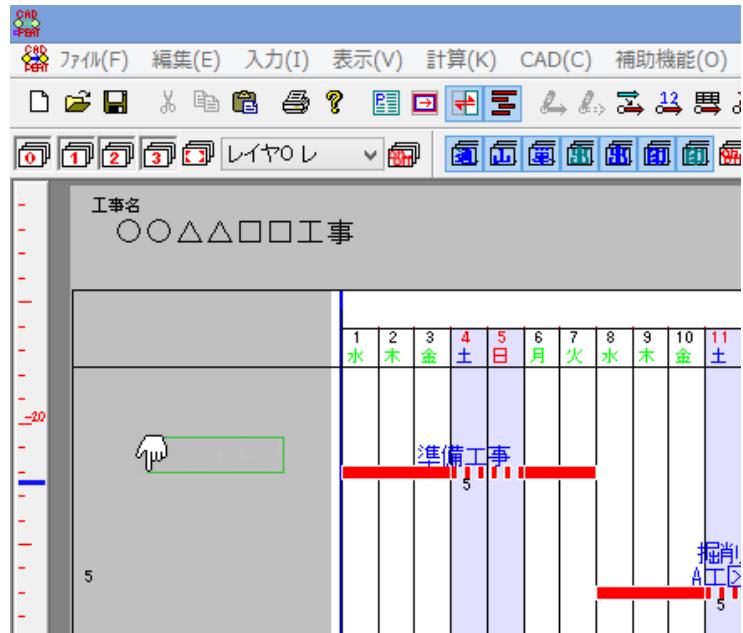
1. メニューバーの[CAD]→[入力]→[文字]をクリックすると[CAD 文字]ダイアログが表示されますので文字をキーボードで入力して、文字サイズが初期設定のままでよければ[OK]ボタンをクリックします。



初期設定は[補助機能] - [システム設定]の[フォント]の「作業名(レイヤ)」で設定します

文字サイズを変更する場合はここで変更します。

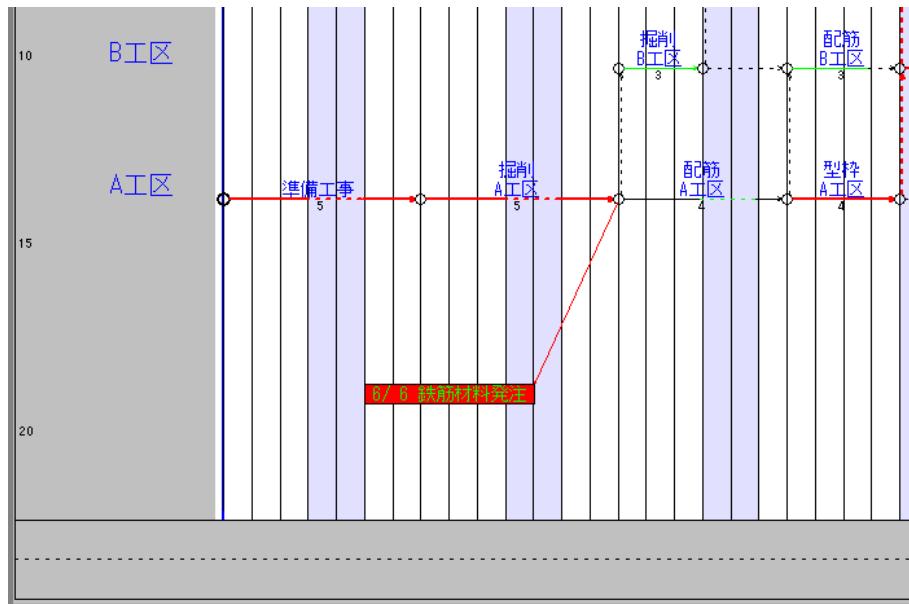
- マウスカーソルが になり入力した文字の大きさがボックスで表示されますので、マウスを移動させクリックします。



- 続けて作業名を入力し最後の文字の入力が完了したら、[CAD 文字]ダイアログの<キャンセル>ボタンをクリックして文字入力を終了させます。

2. 注意喚起機能について

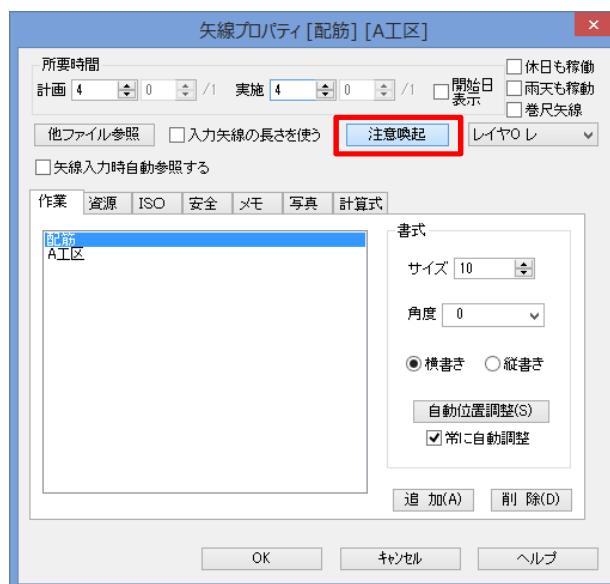
作業矢線に連動させて表示させたいイベントなどを表示します。



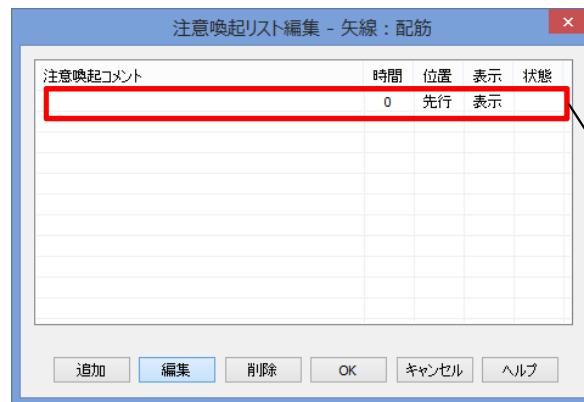
鉄筋工事を行う7日前に材料発注をしなければならないことを注意喚起させます。ここでは、作業名「配筋 A 工区」に「鉄筋材料発注」の注意喚起を表示させます。

◆注意喚起を入力する

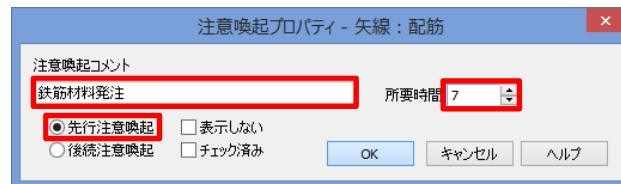
1. 矢線「配筋A工区」をクリックして選択します。選択された矢線は水色表示されます。
2. 続けて右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
3. [矢線プロパティ]ダイアログが表示されますので、[注意喚起]をクリックします。



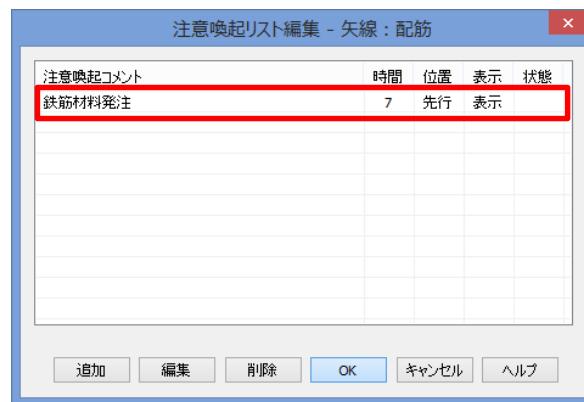
4. [注意喚起リスト編集]ダイアログが表示されますので、<追加>ボタンをクリックして続けて<編集>ボタンをクリックします。



5. [注意喚起プロパティ]ダイアログが表示されますので「注意喚起コメント」欄に「鉄筋材料発注」と入力し、「所要時間」を「7」にし「先行注意喚起」を選択し<OK>ボタンをクリックします。



6. [注意喚起リスト編集]ダイアログに内容が反映されていることを確認して、<OK>ボタンをクリックします。



7. 続けて[矢線プロパティ]ダイアログの<OK>ボタンをクリックします。

◆表示位置を移動する

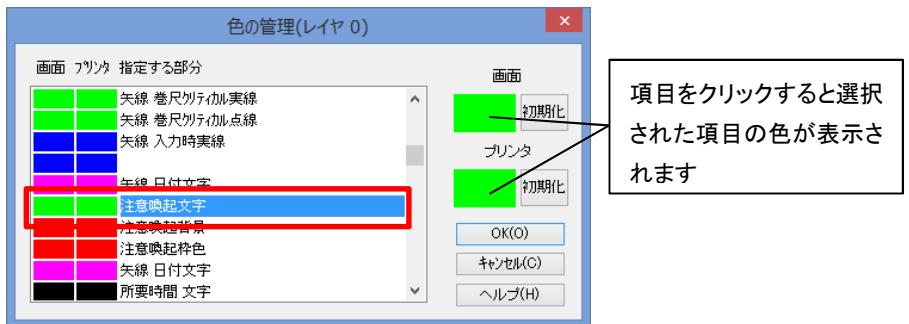
1. 表示された注意喚起の文字をクリックします。
2. このときマウスカーソルが から に変わります。マウスをドラッグ&ドロップして文字を移動させます。

◆文字や線の色を変更する

1. メニューバーの【補助機能】-【システム設定】をクリックすると【システム設定】ダイアログが表示されますので【色の管理(A)(レイヤ 0)】をクリックします。



2. 【色の管理】ダイアログが表示されます。マウスホイールまたはダイアログ内のスクロールバーで下方向にスクロールさせると「注意喚起文字」「注意喚起背景」「注意喚起枠色」とありますので、変更する項目をクリックします。



3. 「画面」及び「プリンタ」の表示された色の部分をクリックすると【画面】ダイアログが表示されますので変更したい色を選択し【OK】ボタンをクリックします。続けて各項目の色の変更が完了したら、【色の管理】ダイアログの【OK】ボタンをクリックして続けて【システム設定】ダイアログの【OK】ボタンをクリックして色の変更を終了させます。

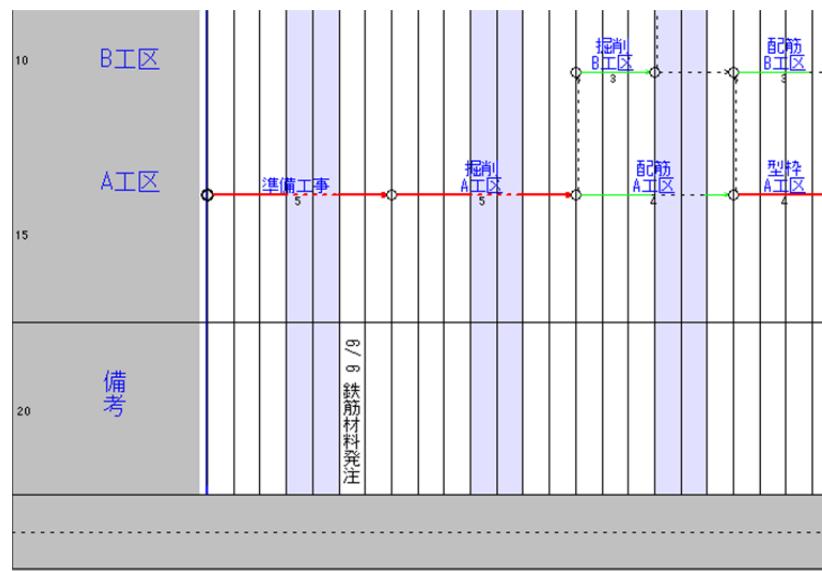
◆文字を縦書きにする

1. 表示された注意喚起の文字をクリックします。
2. このときマウスカーソルが から に変わります。マウスを右クリックし、メニュー内の【文字方向】をクリックすると文字は縦書きに変更されます。再度行うと横書きに変更されます。

◆注意喚起表示の線及び
枠を非表示にする

1. メニューバーの[表示]—[注意喚起]—[注意喚起(枠・線なし)]をクリックします。

このような応用もできます。



3. CAD レベル表示/非表示機能について

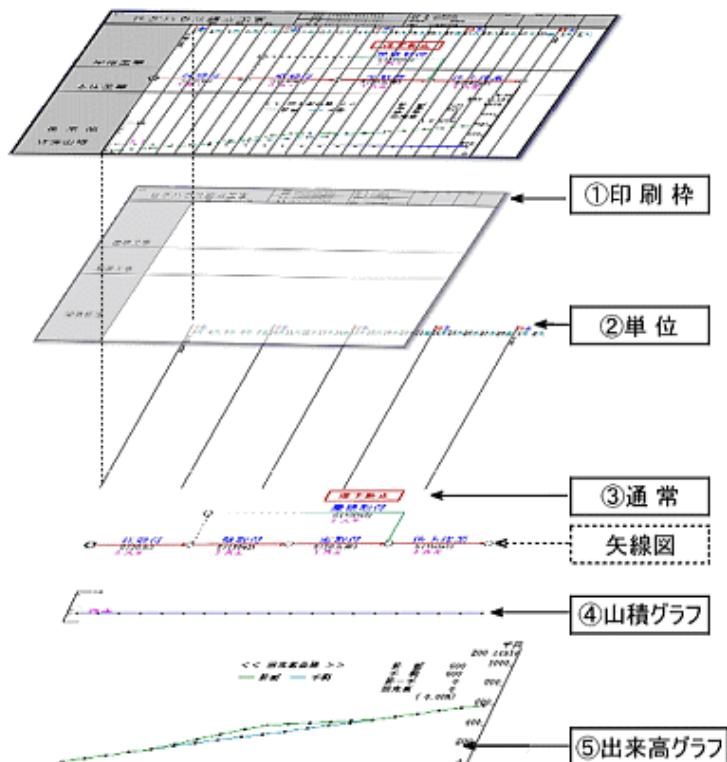
従来のレイヤ機能と同様に CAD レベルを表示/非表示させることができます。

作成した「山積」や「出来高」についても CAD 表示ツールバー  より表示/非表示を簡単に操作することができます。

 「山積」「出来高」についてはデータ入力後メニューbaruの[ファイル]ー[印刷編集]より[山積 取込]、[出来高 取込]をクリックしてデータの取込を行わないと表示されません。

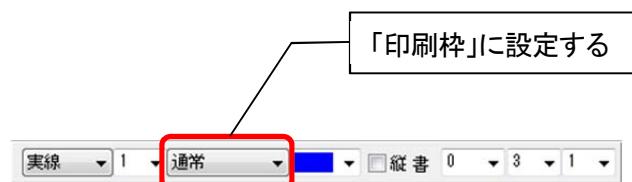
 「通常」は入力したレイヤが非表示の場合は表示されません。

◆CAD レベルのイメージ



☆「通常」は入力した矢線図のレイヤと連動しています。

☆「印刷枠」のグレー箇所へ文字や図形を描く場合、CAD ツールバーの[CAD レベル指定]を「印刷枠」または「ユーザー枠」にしないと表示されません。



4. CAD モード機能について

CAD モード機能により、条件選択をすることができます。

CAD 図形(文字)を選択してからコマンド実行することができます。([移動][複写][削除]などが矢線図と同じように操作できます)

※メニューバーによる操作方法は従来と変更ありません。

 CAD モード機能で条件選択をしてもメニューバーによる操作では条件は反映されません。

◆複数の CAD 文字を移動する

1. ツールバーの **CADモード** をクリックします。

2. [CAD モード選択]ダイアログが表示されますので<全てオン>をクリックしてすべてのチェックボックスにチェックを入れて<OK>ボタンをクリックします。



3. マウスをドラッグして文字を囲みます。選択された CAD 文字は水色表示に変わります。

4. マウスカーソルを選択された CAD 文字の上にのせるとマウスカーソルの形状が  になりますので、マウスをドラッグ＆ドロップして移動させます。

5. ツールバーの **CADモード** をクリックすると元に戻り、矢線図を選択できるようになります。

5. 矢線表形式編集機能について

矢線表形式編集機能は、歩掛や作業量などの矢線情報を表形式で一覧表示することができます。

従来は[矢線プロパティ]ダイアログで矢線毎に編集を行いましたが、矢線表形式編集機能を使用することで[矢線編集]ダイアログからExcel感覚で一度に編集することができます。

⚠️ 作業名や資源名などについては[矢線編集]ダイアログでの直接編集はできません。[矢線編集]ダイアログから項目をダブルクリックすると[矢線プロパティ]ダイアログが表示されますので[矢線プロパティ]ダイアログで編集します。

◆矢線表形式編集機能を表示する

1. メニューバーの[編集]-[矢線表形式編集]をクリックします。

2. [矢線編集]ダイアログが表示されます。



◆編集する

1. 編集したい項目にマウスカーソルを合わせ右クリックすると、メニュー内に[編集]と[矢線プロパティ]の項目が表示されます。

2. [編集]をクリックすると直接編集することができます。また[矢線プロパティ]をクリックすると[矢線プロパティ]ダイアログが表示されます。

背景が緑色の項目については[編集]を選択できません。「矢線プロパティ」で編集してください。

6. 簡易矢線入力機能について

簡単矢線入力機能は、作業名や資源名の入力を省くため[矢線プロパティ]ダイアログを表示させずにただ矢線のみを入力することができます。

矢線表形式編集機能を併用すれば後から続けてデータだけの入力が可能です。

 作業名および資源の入力は各矢線の[矢線プロパティ]ダイアログを開いて入力します。

◆簡易矢線入力を設定する

1. メニューバーの**[補助機能]**—**[オプション]**をクリックします。
2. **[オプション]**ダイアログが表示されますので、矢線入力方法を「矢線のみ単純入力」にチェックを入れて**OK**ボタンをクリックします。

